

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	小学校管理運営事業(学務課)				シート番号	038-013
担当部署名	教育委員会事務	局	総務	部	学務	課 評価責任者(課長名) 上岡

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	4	教育・生活環境の充実	無
	2	事業開始年度	平成 14 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成14年度から、登下校時の児童生徒をはじめ、地域住民の安全安心度を高めるため、大阪府警察本部と協力し、パイロット事業として通学路に子ども緊急通報装置を設置している。平成29年度より防犯カメラに変更。また、平成17年度に小規模再編事業を行った2校について、通学区域の変更に伴い、児童の通学の円滑化を図るため、安全指導員を配置している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	児童生徒並びに地域住民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	児童生徒の通学の安全を確保し、地域住民にとっても安全安心なまちとする。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・府下のパイロット事業として、大阪府警察本部と通学路に設置した子ども緊急通報装置(平成29年度より防犯カメラに更新)の維持管理 ・小規模再編事業を行った2校に安全指導員を配置 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
10	直接実施以外の主な支出先	大阪府警本部、関西電力、シルバー人材センター					

Ⅲ. 投入量

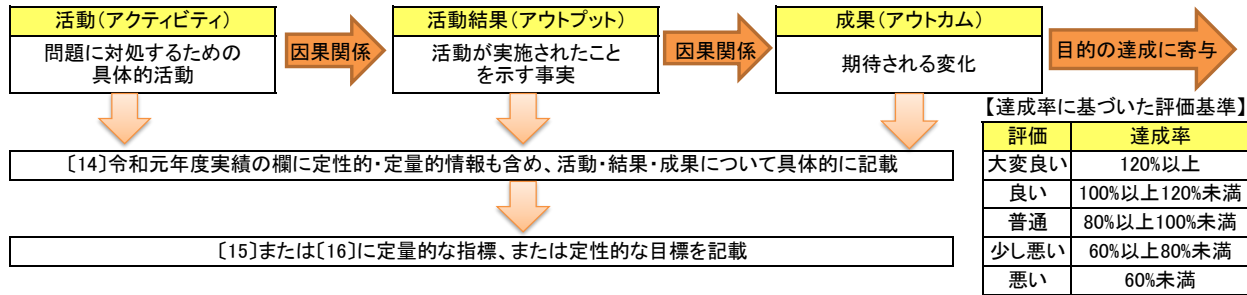
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
事業費(a)	千円	10,771	7,920	3,846	3,470	3,980	3,381	4,218	
11 主な事業費内訳	子ども緊急通報装置関係	千円	6,600	4,451	0	0	0	0	
	小規模再編事業に伴う通学路安全業務	千円	4,148	3,449	3,823	3,470	3,980	3,381	
		千円							
		千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円						
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
		市債	千円						
その他(施設の光熱水費徴収金)		千円	11	9	11	0	0	0	
一般財源	千円	10,760	7,911	3,835	3,470	3,980	3,381	4,218	
12 人件費(b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,640	1,620	1,620	1,640	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	12,411	9,560	5,486	5,110	5,600	5,001	5,858	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	小学校管理運営事業(学務課)	シート番号	038-013
-------	----------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	シルバー人材センターと委託契約を行い登下校時に安全指導員の配置を行った。大阪府警と共同で防犯カメラ5台の運用を行った。						
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	安全を確保した児童数	人	目標値	-	-	-	250
				実績値	273	277	259	
				達成率	-	-	-	
				評価	-	-	-	
		算出方法・設定根拠など		配置箇所が通学路となる児童数				
	16		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			目標値					
			実績値					
		達成率						
		評価						

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	安全を確保した児童数	人	273	277	259
	②	上記①にかかる年間経費	千円	5,089	5,110	5,001
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	18,641	18,448	19,309
	備考(算出についての説明等)					
18		区分 <td style="text-align: center;">単位 <td style="text-align: center;">平成29年度</td> <td style="text-align: center;">平成30年度</td> <td style="text-align: center;">令和元年度</td> </td>	単位 <td style="text-align: center;">平成29年度</td> <td style="text-align: center;">平成30年度</td> <td style="text-align: center;">令和元年度</td>	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		引き続き安全指導員を配置するとともに、防犯カメラの設置により、児童生徒の安全な通学を確保することができた。

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうでしたか。
  - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
  - 資源投入は適切でしたか。
  - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
  - 有効性は高いですか。低いですか。
  - 効率性は向上していますか。
  - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
  - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	小学校管理運営事業(学務課)	シート番号	038-013
-------	----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 児童の通学の安全確保ができない恐れがある。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 児童の通学の安全確保ができない恐れがある。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 児童の通学の安全確保ができない恐れがある。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 市直営で実施するより低コストである。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	理由・説明 安全指導員の配置は学校再編する際の条件のひとつとして実施している事業である。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 安全指導員の配置は学校再編する際の条件のひとつとして実施している事業であり、児童の通学の安全確保のため、継続が必要である。		